

新入会員紹介

Table of new members with photos, names, club names, and dates. Includes a section for a deceased member, Tetsuya Mitsuda.

編集後記

●平成24年秋、2710地区ガバナー輩出クラブであります、下関ロータリークラブの大和会長より、月信編集委員への就任要請があり、直ちにお引受しました。ロータリアンとして経験年数の浅い私にとりまして、編集委員会を通して多くを学ばせて戴き、あっという間の1年間でした。

皆さんは時間を割いて毎月の委員会にご出席くださり、そのご意見を参考に編集して一年を終われることに安堵し、委員会メンバーと月信担当業者の方に恵まれたことに感謝しています。



沖田ガバナーと増井月信編集委員長

国際ロータリー第2710地区事務局

所在地 〒732-0822 広島市南区松原町1-5 ホテルグランヴィア広島6F TEL: 082-506-0055 FAX: 082-263-2323 E-mail: info@ri2710.com URL: http://ri2710.com/



ガバナー月信



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014年7月号

SHIMONOSEKI ROTARY CLUB



Governor's Message 『衷心より感謝申し上げます』

2013-14年度 国際ロータリー第2710地区ガバナー

沖田 哲義

GOVERNOR: Tetsuyoshi Okita

地区内ロータリアンの皆さん、今日は。いよいよ最後のガバナー月信となりました。この最終回の月信では、私の年度の1年を振り返りますとともに、地区内の全てのロータリアンの皆様に、衷心より感謝申し上げたいと思います。

それにしましても、地区内74クラブを全て訪問したり、更にはIMやマル周年の懇親会等で実に多くのロータリアンと意見交換を行ったのですが、その結果、特に中小都市のロータリークラブに

しかし、このよう由々しい事態を打開するものの一つが、中小クラブにおける本件事業での新地区補助金の有効活用なのです。

CONTENTS

Table listing contents: ガバナーメッセージ/目次 P1, 奉仕プロジェクト委員会報告 P12, 各グループガバナー補佐退任のご挨拶 P5~10, 地区米山記念奨学会委員を務めて P13, 地区代表幹事退任のご挨拶 P11, 会員増減・出席率 P14, クラブ管理運営委員会報告とお礼 P11, 次年度地区大会広告 P15, 会員開発委員会報告とお礼 P11, 新入会員紹介/物故者への哀悼 P16, R財団委員会より P12, 編集後記/奥付 P16





(表紙より)の監査が入っております。しかし、事業内容そのものにクレームを付けられたことは一切ありません。原本の保存方法が不適切という、いわば手続面の問題点を指摘されただけなのです。したがって、この一覧表が正にグローバルスタンダードなのです。

ところで、来年度(金子ガバナー年度)の新地区補助金の採用状況は、以下のとおりだそうです。

- 1 新地区補助金申請数=18件
- 2 この内採用件数=15件
- 3 採用事例の内訳
 - (1) 障害児・者の社会福祉法人や医療法人等に物品等を寄贈し、あるいは講演会を開催する事業=12件
 - (2) 児童養護施設等の社会福祉法人へ物品を寄贈する事業=2件
 - (3) 女子少年院へ物品を寄贈する事業=1件
- 4 不採用事例件数=3件
- 5 不採用事例の内訳
 - (1) 世界スカウトジャンボリーに参加するボーイスカウト徳山4団に、新しいテントを寄贈する事業
 - (2) 錦帯橋のルーツである独立(どくりゅう。明の帰化僧)展の図録作成事業
 - (3) 市立中学校のコミュニティーサークル団体に、登り旗、パーカーブルゾン、帽子及び腕章を寄贈する事業
- 6 採用事例における援助金額総額=2,592,000円

私の年度は37件の申請がありました。その内19件が採用されたのです。したがって、来年度は本年度の半分未満の申請しかなかったということになります。このような大幅な申請減少が、本年度の採用結果をみて、「どうせ申請しても通らないのだから」という理由で、諦めて申請しなかった結果であるとするならば、ことは極めて重大です。もし仮に、このようなことが続けば、「もうR財団には寄付しない。」とか、「少なくとも4分の1は、寄付せずにクラブで保有する。」というクラブが沢山出てくる可能性があります。現にこのような不満が多くクラブから出ています。このような事態を回避するには、地区のR財団委員会が、日本の6つのパイロット地区のように、新地区補助金の主旨に沿うような、柔軟な考えを持つことが必要です。

しかし、残念ながら、地区のR財団委員会はこのような柔軟な考え方を持っていません。この持たない理由は、①新地区補助金のプログラムは、過去のプログラムの経緯からしても人道的プログラムがその主なものである、②教育的プログラムには奨学金しか予定していない、③「環境保全」・「文化振興・スポーツ振興」・「街おこし・村おこし」プロジェクトについては、「高齢者や障害者、或いは青少年」が生活の特定の場面で置かれた「劣悪な環境を改善する人道的支援」となる場合でなければ、補助金支給の対象とならない、という他の地区では到底考えられないような特異な考え方を持っているからです。しかし、このような特異な考え方が完全に間違いであることは、既に「最終見解」やIM等、いろいろな場面で何度も述べてきたとおりです。

例えば、従来のR財団のプログラムの内、教育的プログラムは、R財団国際親善奨学金の他にロータリー平和センター及びGSEの2つがあったのです。即ち合計3つのプログラムが存在していたのです。したがって、奨学金のみというのは明らかに誤りです(敢えてこの説の言い方をもってすれば、「奨学金、ロータリー平和センター及びVTTの3つが中心」ということになります。)。しかも、今回の新地区補助金でも使用可能となった奨学金は、その修学分野も6つの重点分野以外の音楽等の文化面やスポーツも可能ですし、街造り・街興し分野や環境保全分野も可能です。更に、授与対象者には健全児・者も含まれますし、劣悪な環境に置かれた貧困者という要件も一切ありません。

前述のとおり、「劣悪な環境を改善する」ということが新地区補助金における「人道的プロジェクト」の要件だとしますと、来年度分として採用になったプロジェクトの殆どは、人道的プロジェクトではないということになります。その理由は、上記プロジェクトの殆どが、社会福祉法人や医療法人等を対象としているところ、これらの施設や人的環境は、絶対に「劣悪な環境」ではないといえるからです。そもそも、劣悪な環境であれば、直ちにこれらの法人の「設立認可」が取り消されます。私もある社会福祉法人の理事をしていますから、この点については熟知しているつもりです。それでも、来年度の新地区補助金で頂ける物品等は、当該法人等にとって大変有り難いものです。しかも、これらの寄贈行為自体は、大変素晴らしい奉仕活動だと思えます。しかし、当該法人

等にとっては、このような物品がなければ施設の運営が出来ないというような「緊急性」は全くありません。また、うまく遣り繰りすれば自前で十分賄える程度のものだと思えます。

これと、ごく普通のサラリーマンのご夫婦が集まり、生活費を削って作った自分たちのなけなしのお金をお互いに出し合って、未来を担う自分たちの子どものために、スポーツ教室やその大会の開催という体育教育、絵画・音楽・詩歌等の教室やその大会の開催という芸術文化情操教育、天文学や数学を教える教室の開催という自然科学教育、地域の歴史文化を学ばせるという古里歴史教育、更には交通事故や薬物から身を守ることを教える安全教育等、多くの有意義な青少年健全育成活動を行うとする若いご夫婦のグループ等に対し、地域のロータリークラブが新地区補助金を使い、物心両面でこれらの支援を行うこととの間に、そんなに差があるのでしょうか。私は、6つのパイロット地区と同じように、全くないと思っています。この点については、環境保全を含む街造り・街興し事業についても同様です。しかし、来年度分のような新地区補助金の採用事例を今後も踏襲するとしますと、最早当地区における新地区補助金の対象事業は、医療法人、社会福祉法人、非営利法人及び少年院に対し物品を寄贈する事業(勿論、これにはロータリアン自身が自分の体を動かし、また知恵を出す支援が伴いますが)しか存在しないということになります。これでは、R財団に対するアレルギーが増幅するばかりとなるでしょうし、そもそも、ワンロータリーの考え方に完全に反します。ちなみに、R財団の設立定款の目的の項では、「……この目的の中には、博愛、慈善、教育という特質を持つ、あるいは善意に基づく実質的かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民の間に理解と友好関係を助長することが含まれるが、これらに限定されるものではない。」と規定し、最終的には、支援の内容を「限定されるものではない」として幅広く捉えています。

地区内の各クラブ及びロータリアンの皆様、金子ガバナー年度においても、上記問題を十分に議論して頂きたいと思えます。

一年間本当にお世話になりました。衷心より感謝申し上げます。

日本国内6パイロット地区の新地区補助金採用例
(2010~2014年までの4年間) 分析結果一覧表

第1 健全児・者対象事業

1 スポーツ

スキージャンプ、サッカー、ラグビー、剣道、アイスホッケー、野球、ダンス、スポーツ吹き矢、バスケットボール(ミニバスケットを含む。)、水辺ウォーク、テニス(ソフトテニスを含む。)、ゲートボール、縄跳び、8人制サッカー、スナックゴルフ、ハイキング、ウォークラリー、柔道、スポーツ教育全般

2 芸術・歴史(郷土の歴史・伝統や農業・漁業を含む)・科学・文化関係

囲碁、ふるさと体験、絵画、斗南そば、先端農業、かるた、在住外国人日本語講座、読書感想文、電気自動車制作運転、職業倫理、オーケストラ(ユース、プロを含む)、放課後教育資材、子供挨拶運動、ミニ蒸気機関車運転、中・高生吹奏楽コンサート、図書館への図書寄付、保育園への絵本寄付、青少年音楽育成、自然エネルギー教育、中学生音楽フェスティバル、郷土愛モニュメント、テーブルマナー、水生生物体験、世帯間交流と郷土愛、市民音楽祭、米作り、小中校生対象の外国人留学生講演会、公園・原っぱでの昔遊び、伝統芸能囃子、新設小学校開校支援事業、中学生キャリア教育支援、瀬戸やきもの文化教室、ハワイ日系人との文化交流、地元高校生とのジョイントコンサート、学校農園野菜栽培プロジェクト、交流餅つき、地域伝統芸能承継、中学生リーダー養成塾、ロボットクラブ支援(フェスティバル開催)、七夕コンサート、英語スピーチ、文化財辞典の作成、能楽、オペラ、ふれあい田んぼ教室、郷土史跡保護活動団体助成、学校訪問コンサート、お囃子保存会支援、地元食文化、宇治茶摘みと日本文化の再確認、琵琶湖環境講座、自然・地球環境、仏像修復事業、エコカレンダー、家族の絆メッセージ募集、科学実験・教室、地域の歴史文化・神話、伝統文化承継(能狂言、奈良)、伝統工芸職人地図、稲作農業技術習得、井戸平左衛門正明(石見銀山)、環境問題ミュージカル、ホテル、故郷再発見・ふるさと探検、天体学習

3 他の青少年団体への支援
ボーイスカウト(2770地区の2件)、ガールスカウト(2580地区)



4 子供等に関する安全対策

交通安全横断旗寄贈、交通ルール・マナー教室、自然エネルギー教育、交通安全看板(募集標語看板を含む)寄贈、バス利用者ベンチ、子供自殺予防教育、献血啓蒙奨励、小学校緊急持出袋、高校生食育、防災用井戸掘り、性教育、安全防犯パトロールボード、不審者警戒中看板

第2 街造り・街興し事業

1 2830地区

鮭の稚魚放流事業、桜の名所造り事業、先端型農業取組事業、ホテル祭りプロジェクト

2 2770地区

伝統祭り(宮原祭り)プロジェクト、漁業ピーアール事業、イルミネーション設置事業、伝統産業生産物寄贈事業、商店街ヒートアイランド対策事業、緑区区民祭りプロジェクト

3 2580地区

四谷荒木町活性化プロジェクト、福生市の地域再生・活性化のためのシャッター街の再生プロジェクト

4 2760地区

サボテン鉢植え大会、昭和まち自慢ビデオコンテスト

5 2650地区

「梅岩まつり」の実施による地域社会活性化事業、参道を整備し賑わいを取り戻す事業、史跡・公園・名所への案内板を設置し地元の自尊心を取り戻す事業、「長山ロータリー公園」を整備し市民に憩いと安らぎを提供する事業、桜の植樹を行い桜の名所にして地域活性化に寄与する事業、地元住民のための公園造り事業、清潔で美しい街造り事業

6 2690地区

心安らぐベンチのある街倉敷プロジェクト、備前国総社宮復興のための「もみじの杜」事業、湯郷温泉河川敷花いっぱい計画、祭り復活「伝統芸能イベント」、吉野川のフラワーロード計画

第3 環境保全事業

1 2830地区

みんなで植樹、平和公園環境整備事業、水源地ブナ苗木植林、桜の植林、平和公園ロータリー記念花壇植栽、馬淵川植林、記念植樹(公共施設等)、三沢墓地公園桜木追肥

2 2770地区

見沼田んぼ休憩ポイント整備事業、散歩道整備のためのおじさいの木植樹事業、花の苗配布、地球温暖化対策のための電力抑制啓蒙チラシ配布、行幸湖水質浄化のための浮島(筏)組立設置事業、公園花植緑化、環境美化運動、小学校花植樹、国道菜の花植芝桜植樹、区庁舎レモン・もみの木等植樹、鴨川親水広場へのベンチ設置、駅花植

3 2580地区

植樹による環境美化事業、公園草刈り植樹環境美化事業、公園植栽フェンス花壇設置工事事業、ダム通ラン苗木植樹、桜植樹

4 2760地区

東山植物園花いっぱいプロジェクト、公園緑化、苗木配布、町緑化運動環境保全、公園ペイントプロジェクト、免々田川周辺の環境整備事業、緑化環境整備事業、公園開園記念植樹

5 2650地区

森林公園のトイレ取替・植樹施肥、駅橋上通路フラワーボックス設置、珊瑚の苗の植付け、五老ヶ岳登山道「ロータリーの道」整備、吉野山自然保護安全対策看板と道しるべの設置、京都市内大通り沿いせせらぎでの花植樹、ヨシ群再生による綺麗な琵琶湖を取り戻す事業、森の竹林伐採と広葉樹林の再生、家庭及び公共施設での環境浄化植物植栽、ため池周辺水環境整備事業、市民公園桜等の植樹・剪定・築山、環境保全植樹、公園整備、市民公園つつじ植栽、環境美化植樹、桜植樹環境保全

6 2690地区

湯郷温泉河川敷芝桜植樹、日野川源流森再生プロジェクト、新庄・千本桜植樹計画、防風林復活環境保全事業、黒松苗木植樹、ホテルの飛び交う憩いの場造り水浄化プロジェクト、船上山桜植樹、「ばていお広場」の緑化推進事業、平田愛宕山公園の緑化プロジェクト、太子が丘の森整備、西緑地公園緑の保全事業、海岸松林再生事業、竹林伐採環境プロジェクト、「万葉植物の丘」整備事業、日野川下流の植樹、グリーンヒルズ津山環境保全事業

以上



ガバナー補佐退任のことば

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ1ガバナー補佐 紺箭 素彦

ガバナー補佐という大役、どうせやるなら若いうちと思い、簡単に引き受けてしまいました。随行幹事は我がクラブの精鋭である木内君と田淵君にやって頂きました。最初は沖田ガバナーが大変張り切っているから、夢計画の実施年度だからと、どうなることかと思ったものでした。始まる前は広島に集まっては勉強会や会議が数回ありました。このままいくと何回広島に行かなければならないかと思ったものでした。

始まると第一の使命はクラブ訪問でした。最終的に4回の訪問をするように言われました。私は一回目は顔見世挨拶、2回目ガバナー補佐訪問、3回目公式訪問、4回目IMのお礼と最後の挨拶としました。やってみると結構楽しくて、会員の皆さんも顔を覚えてくれて、思いのほか優しく迎えてくれ、私にとっては大変貴重な楽しい時間でした。

大変だったのはRLIのディスカッションリーダーになったことでした。広島にてパートIからパートIIIまで3日間行われました。RLIは受けられた方しか分からないと思いますが、はらはらドキドキで手に汗握る3日間



1年を振り返って

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ2ガバナー補佐 脇和也

今年3月14日の広島市でのPETSへ2015-16年の地区役員として参加した時のことでした。昨年、自分が座った席に次年度のガバナー補佐の皆さんが顔をそろえておられる。それをみて安堵感の一方で肩の力が抜けたような寂しさが交錯したことでした。その時の気持ちを後で反芻してみると「ああこれで補佐の役割は終わった」という達成感の上に、「十分やり遂げることができなかった」という思いが重なったのだと気づきました。

一昨年9月の初の補佐研修会。翌年早々のRLIでのファシリテーター役。そして6月からの1回目のクラブ訪問。補佐訪問、ガバナー訪問を含めグループ内7クラブを4回ずつ計28回訪れて、むしろ教えられることの多かった例会参加は時間が短く感じられたものでした。また同じロータリークラブでもそれぞれに個性的な奉仕活動の展開に興味をそそられることしきりでした。

した。結果的には一番勉強になったのは私自身でした。

それからIMの開催です。梅本実行委員長のもと2月23日(日)に行われました。夢計画について、もやもやしているところをはっきりさせるために、財団委員長をまねいて講演を行いました。それからクラブ訪問を重ねる中で各クラブがそれぞれ独自の奉仕活動や親睦活動をやっているのに大変感心しました。そこで「我がクラブの自慢の奉仕活動と親睦活動」という題でパネルディスカッションを行いました。各クラブの会長さんに立派にパネラーを務めて頂きました。私も初めてのコーディネーターでしたがどうにか無事終わりました。懇親会も大変ありがとうございました。これもすべてクラブ一丸となって臨んだ結果だと思います。

残念なのは夢計画についてです。当初聞いていたものと考えていたものとは全然変わり何の仕事もできませんでした。本当に夢幻と消えてしまいました。

最後にガバナー補佐として皆さんのためには役立ったどうかは別として、私のためには大変いい経験をさせていただいたと心から感謝しています。

思い出すままにそんなガバナー補佐としての時間を振り返ると、改めて得難い経験と出会いをいただくことができたと思います。ただ、では自分はどれほどのことをグループ内の各クラブにできたのか。得ることばかりで、何を提供したかの自問に答えを持ち合わせていないもどかしさがあります。

「そうかガバナー補佐は終わったのだ」。PETSでの思いをけじめとして、翌日にはグループ2のIMに臨みました。自クラブのメンバーの多大な協力で補佐としての最後の「山場」も何とか越えることができたときの気分は、爽やかなものでした。

お世話になりました沖田哲義ガバナーには感謝の念でいっぱいです。またクラブ訪問ではいつも車に同乗させてもらった田中敏夫随行幹事との車中でのロータリー談義も楽しい思い出です。ありがとうございました。



ガバナー補佐退任のことば

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ3ガバナー補佐 **入交 知則**

振り返れば、グループ3内6クラブの会長さんを始めとする皆さんに支えて頂いて、お陰様で1年間が早く経過したと思っています。改めてグループ3の皆様へ感謝とお礼を申し上げます。有難うございました。思い起こせば、この1年間何もお役に立てなかったこの私に対し、クラブ訪問時にはいつも皆様から暖かく迎えて頂きまして、まるでホームクラブに居るような気が致しました。ガバナー補佐としての任務を全て果たしたとは、決して言えるものではありませんが、私自身お陰さまでロータリアンの「人儲け」をさせて頂くことが出来ました。クラブ訪問を一度より二度と重ねる度に、多くのロータリアンとのご縁を頂きます。今後はロータリーソングの「それでこそロータリー」の係に進化して欲しいと願っています。その意味で、クラブ訪問は大変意義深く、多くのことを学べるチャンスでもあることにも気がつきました。自

身のクラブにおける例会運営と比べて、良いところを無料で持って帰れることが出来ることも一つの特権であると思います。私のような立場や地区の役員になるためにクラブより出向することは、出身クラブの活性化に繋がることでもあると考えます。今となれば、遺言じみですが、クラブ内での理事役員や地区への出向要請やお誘いがあれば「イエスカハイ」でお返事して頂き、たまには限られた期間を普段と違ったロータリー活動として、ご経験されてみるのも良いかもしれません。結びに際し、足の裏や陰という見えない部分を大切にするものと言われるのですが、地区事務局員さんや今年度地区のスタッフの皆さんそして山口南の皆さんと事務局員さんに多く助けて頂きました。心より御礼申し上げます。最後に私の幹事を務めて頂いた山口南の西村健治さんに心より感謝を申し上げます。有難うございました。



ガバナー補佐退任挨拶

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ4ガバナー補佐 **平村 紀夫**

2012年度 周南西ロータリークラブ会長在任中5月頃、PGの岡田幹也様から次年度(2013-14年度)ガバナー補佐のお話をいただき、私自身は今年度12-13年度会長と云う役目からやっと解放され7月を楽しみにしていた頃、大変驚き、またお断りしてはいたのですが、PGの岡田先輩から強引に押されお引き受けしたと云う次第ですが、お受けした以上関係者の方々にご迷惑をおかけしてはいけないと思い、出来る限りの努力と覚悟、そして緊張の毎日でした。

最初の沖田哲義ガバナーの出会いは2012年9月 第一回ガバナー補佐会議でしたが、そのとき、早速「ロータリーとは」という小冊子を頂き、ロータリーの勉強不足である私は「これは大変な事になった」と当初は思いました。後になって、この小冊子を頂き、ロータ

リーの事を勉強する上で、本年度がロータリー夢計画の実施年度でもある事など、いろんな意味で、この冊子には大変助けられました。

クラブ訪問また地区大会、IMの開催とアッと云う間の一年でした。地区大会では、おいしい河豚を腹いっぱい食べさせて頂き、G4のIMでは、宮城県、気仙沼南ロータリークラブより9名の出席、又「東日本大震災とロータリー」と云う演題で講演をお願いし、そしてPGの田村泰三様を始めとする他グループから多数のご出席もしていただき、大変感動した一日でした。沖田ガバナーを始め、G4の各クラブの会長、幹事、会員の皆様方の今年度のご協力に感謝し、私の御礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。



ガバナー補佐退任の挨拶

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ5ガバナー補佐 **金井 哲明**

グループ5のガバナー補佐を終える時となりました。一昨年9月、第1回の補佐会議は病氣加療中の為、福田補佐幹事に代理出席をしてもらってのスタートでした。御存知の様に沖田年度は「未来の夢計画」の実施年度でありました。

沖田ガバナーはスタートに先立ち補佐会議で「ロータリーの社会奉仕活動等対外的奉仕活動を根本から変革する可能性のあるものです」と述べられています。

これに伴いRIと財団の理解を深めておく必要から「ロータリーとは」という冊子を作られ(後に追記も行われた)配布されました。

これはガバナーの並々ならぬ意欲と果敢な情熱の表れであり、1年を象徴したものとなりました。

初回の各クラブ訪問は、どの会長さんもスタートして間がなく、私と同じように緊張の面持ちで、お迎え頂いた感じがします。

クラブ・フォーラムでは「夢計画」の事業申請について侃侃諤諤の意見があり、コンセンサスを得るには少々時間を必要とする感じがしました。

本年度はガバナーの意図された形とは違ったようです

が、始まりのカオスは後に実を結ぶことでしょう。

次に、RLIのディスカッション・リーダーについては多くの方と、共に学び合う姿勢で勤めました。

ロータリーは肩書きのある方が、一部の精密な情報を持っているわけではなく、一般の会員と同じ土俵の上で学び合い、研修を行うことがその旨であり、故に活発な論議が構成されるのだと思いました。

3回のDLを務めましたが、諸先輩方が如何に勉強されてこられたか、頭の下がる思いがしましたし、もっとも多くの事を学ぶことができました。

又、IMの開催に御協力いただいたことも感謝の念に堪えません。

「錦帯橋の鵜飼」やクラブの周年行事も含め各クラブを3~4回訪問いたしました。其々にクラブの歴史と伝統を強く感じました。

併せて会長、幹事さん並びに会員の皆様方に温かく迎え、支えて頂いたことで、体調不良からのスタートでしたが無事ガバナー補佐の大役を終えることが出来ました。

1年間ご協力頂いた皆様へ心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



一年を振り返って

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ6ガバナー補佐 **小城 林勲**

時の経過は早いもので、一昨年の夏に自らの力不足を知りつつも大役を拝命し、任務遂行中は予習復習に重い靴を抱える日々でした。

ロータリーに入会して25年になりますが、何よりの財産は多くの人に会った事、多くのテーマに出会った事、多くの経験を積み重ねられた事です。

『一期一会』の言葉をまさに実感しました。訪問するクラブの中には若い時代に御縁があった方が沢山おられ、懐かしく思うと共に私の任務に対し多大な御協力も頂くことが出来ました。担当させて頂いたグループ6には歴史の深いクラブもあり、先人の御努力には驚く事も沢山ありました。平和フォーラムの意義深さやアジアの国々に心を向けられた奉仕の実践など、クラブ訪問で聴くことが出来ました事は私にとってはバツグンに重みを増すこととなりました。

補佐役前年度は研修会の連続でしたが、その中でも、RLI研修では各クラブの会長エレクトの率直な御意見を

聞く事ができて大変有意義でした。一つのテーマにおいても、あらゆる角度からの捉え方があり勉強になると同時に、真似することが出来ない程の強い意志を持たれている方の御意見にも接し、大変勉強になりました。

G6・G7合同IMのテーマである「平和」についても、結局は人間同士の心が基本であり、ロータリアンとしての目の向け方にも留意する事の大切さを学びました。「平和」の第一歩は家庭からと思い、私が実際に家庭で行っている「孫とリングとナイフ」について述べました。

我国を取り巻く国際環境は半世紀を経て大きく変わってきています。TPPにも国内の一部には問題があるのですが、我国が内向きのままでは世界で通用しなくなってしまいます。我々自身も変わってゆかねばなりません。ガラパゴスのロンサム・ジョージになってしまいます。

経験を積み重ねて下さいました関係者の方々に感謝しますと共に、沖田ガバナーには更に上を目指して下さることを御期待申し上げて一年の感想と致します。



ガバナー補佐退任のことば

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ7ガバナー補佐 **井内 康輝**

国際ロータリー第2710地区2013-2014年度のガバナー補佐を無事に務めさせていただき、グループ内の各クラブの会長、幹事様、ロータリアンの皆様に心より御礼申し上げます。

もとより私はロータリーに関する知識も経験も十分でないままガバナー補佐の大役をお引き受けしてしまいましたが、この任期の間、ロータリーに関して多くを学ぶことができましたことに感謝申し上げます。

まず各クラブへはそれぞれ4回ずつ訪問させていただき、クラブ協議会や例会への参加で、各クラブがお持ちの理念や活動を学ばせていただきました。ともすればこれまで、自分の所属するクラブを通して他クラブをみておりましたが、そうした見方では十分な理解ができていないと感じました。会員増強に努力されているクラブ、経験年数の少ない会員の多いクラブでロータリー情報をいかに伝えるかを努力されているクラブ、社会奉仕活動にいかにも多くの会員の参加していただくに腐心されているクラブ、など、会長、幹事をはじめとする方々の努力に敬服致しました。また、女性会員が活発に活動されているクラブや、20代、30代の若い会員を受入れるのみならず、それらの方々に活躍の場を作っておられるクラブには、クラブとしての躍動感を感じました。

一方、長い伝統をもつクラブでは、その雰囲気独特で、経験年数の多い会員の皆さんが築かれてきたものが

根付いていることを感じました。それぞれのクラブが自らが決められたクラブの歩むべき道をすすまれるのがロータリークラブとして最善の方法であることを実感した次第です。

一方、12月2日～4日に開催されました2013-2014年度国際ロータリーゾーン1、2、3の第42回ロータリー研究会に参加する機会もいただいて、国際ロータリーのめざしている方向についての理解も深まったと感じています。さらに、グループ6・7の合同インターシティミーティング(IM)でも14クラブの支援をいただいて、「平和問題」に関する討論会を行うことができました。これも前年度の田中作次RI会長のもとでの「世界平和フォーラム」の体験をへて、今後ともロータリークラブでは、平和に関する討論を続けていただきたいとの思いを形にさせていただきました。これも2710地区のロータリー活動として根付いていくことを願っております。加えて、私は今年度、グローバル補助金をいただいてカンボジアのカンポットという地域で「女性乳がんの検診事業」というプロジェクトを行ってきました。私自身は、奉仕活動としてこれを実施することに何ら違和感ももちませんし、共にカンボジアへ出向いた仲間と楽しく過ごしてきたと思っています。

各クラブの今後益々のご発展をお祈りし、退任のご挨拶とさせていただきます。



ガバナー補佐退任の挨拶

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ8ガバナー補佐 **蔵田 憲**

過ぎてみれば早いもので、私の任期も無事終えることができました。グループ内ロータリアンの皆様の寛容な心とロータリーの友情のお蔭と感謝申し上げます。

2012年7月にガバナー補佐に指名され、9月のAG会議に始まり、RLI研修会、RLIパートI、PETS、RLIパートII、地区協議会等に参加し、ガバナー補佐の役割を教わりました。

特に、沖田ガバナーが情熱をもって書かれた教本「ロータリーとは」は、勉強不足の私にとって、改めてロータリーについて勉強させていただく教材として大変参考になりました。そして、読み返す内に理解も深まり、皆様へお伝えする要点も判ってきたように感じました。

2013年8月から始まったガバナー補佐訪問、クラブ協

議会、ガバナー公式訪問と7クラブを4ヶ月かかって廻らせていただきました。クラブ訪問では各クラブ会長、幹事始め会員の皆様には温かく迎え入れていただき大変感謝しております。

良きロータリアンを目指し、地域ニーズを汲み取り、地域に根差した活動をされている多くのクラブ。職業奉仕を重んじ、研鑽を積まれるクラブ。出席率向上を目的に例会の充実を図られているクラブ。ロータリー理解推進のため定期的にクラブ協議会を行われているクラブ。親睦を大切に運営をされているクラブ等、各クラブともそれぞれの地域性に合った特色ある運営をされていることには大いに感銘を受けました。

また、東広島21RCと安山中央RCとの姉妹縁組締結10周年記念式典。呉ローターアクトクラブ35周年記念式典。西条RC50周年記念式典にも出席し、多くの素晴らしいロータリアンと知り合えたことは、私の人生の中で大

きな財産となりました。

最後に、沖田ガバナーを始め、グループ内の会長、幹事、会員の皆様のご指導と友情に対し心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー補佐退任のご挨拶

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ9ガバナー補佐 **元廣 清志**

2014年4月29日、沖田ガバナーをお迎えして尾道東RCでは40周年の記念式典を開催、盛大に終えた処です。グループ内では、4月12日に広島空港RCの20周年に出席したばかりの処でした。私がAGをお引受けした年に2クラブも周年事業が重なるというのも、私にとっては感動多い事でありました。それぞれのクラブが、各自独自のやり方で年月を重ねてこられ、しっかりとクラブの特色を明確にして、RI、地区の方針に沿って歩まれる姿に接し、本当にロータリークラブの素晴らしさを感じる出来事であったと思います。

さて、私は、2013-2014年はガバナー補佐をお引き受けする事となりました。2012年の9月に始まった補佐会議から12月の補佐会議を経て、第5期RLIパート1からパート3までのRLIを受け、その間、PETS、地区協議会を経て、少しずつ実感が持てるようになってきました。多くの学習をさせていただいての事でありました。

4月8日は第9グループにガバナーをお迎えしグループ内の会長幹事懇談会を行いました。2013-2014年の取り組みや、公式の訪問日程、方法などの会議ができた事は、グループ内共通認識が得られ、且つ沖田ガバナーとの事前の出会いが得られ、公式訪問にも役立つ事となりました。



1年を振り返って

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ10ガバナー補佐 **原田 隆史**

表題は1年を振り返ってですが、実質2012年7月にクラブ会長より次年度(沖田ガバナー年度)のガバナー補佐を引き受けて下さいとの要請があり、熟考の末引き受けさせていただく事になりました。

9月に1回目のガバナー補佐会議が広島であり、沖田ガバナーエレクト、そして12グループ12名のガバナー補佐予定者の方々と初めて顔合わせをしました。

沖田ガバナー年度は、奉仕活動を見直そう、「新しい奉仕活動への挑戦」というガバナー信条を説明していただきました。また「ロータリーとは」という本をいただきよく読んでおいて下さいとの事でした。

いよいよ沖田ガバナー年度に入り、ガバナー公式訪問、

下関での地区大会、年が変わりIMとロータリーの事で多忙をきわめました。

3月に入り10グループ各クラブ4回目のクラブ訪問を終え、やっと平常な生活に戻る事が出来ました。

この1年間いろいろな事を勉強させていただき有意義な1年であったと思っております。10グループの各クラブの皆様方には、いろいろな御協力をいただきありがとうございました。また出身クラブ(鞆の浦RC)の会員の皆様には、いろいろな場面でお手伝いをいただきありがとうございました。無事に任務を終えることが出来たのも皆様のお蔭と感謝しております。



ガバナー補佐退任のことば

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ11ガバナー補佐 **高橋 敏行**

ガバナー補佐を拝命した2012年は年初から2度入退院を繰り返して体調が絶不調の時でした。クラブ会長からガバナー補佐の話が有りましたが、体調と能力不足の為、会員の皆様にご迷惑をお掛けする事になるのと丁重にお断りしていたのですが、AG選任報告の締め切り当日の6月29日まで説得され、最終的にガバナー補佐の重責を務める事となりました。

そして3か月後の9月29日第一回目のガバナー補佐研修会、大変緊張して会議に出席した事をよく覚えてます。そして出席者の方々のロータリー感の素晴らしさ、私はとんでもない大役を受諾した事に研修会の間は反省しながらの苦悩の研修となりました。

12月はRLIでDLを務める為の研修会、冷や汗いっぱいの研修、どうしてAGを受けてしまったのかと又、反省の研修会。

2013年の2月9日第一回RLIが開催、いよいよ本番である、研修会以上に冷や汗をかきながらDLをさせて頂きました事も貴重な経験でした。

いよいよ新年度がスタートの7月からはグループ11のクラブ訪問、赤坂RC、松永RC、福山北RC、福山南RC、福山西RCを訪問させて頂き、全てのクラブの会長、幹事、

役員様をはじめ多くの会員の皆様に温かく迎えて頂きロータリアンの友愛の心にふれさせて頂きました事、感謝申し上げます。

公式訪問では、未来の夢計画の実施年度でもあり、沖田ガバナーに数多くのご質問やご相談を頂きまして大変意義深い素晴らしい公式訪問を行う事が出来ました。2014年2月11日のG11、10合同で開催するIMのテーマ(新しい奉仕活動への挑戦)は公式訪問の各クラブフォーラムの集大成として、開催する事を決めました。

そして、この合同IMはG10、11内のすべてのクラブが主役となれる様、全員参加形のIM、それはRC活動における数々の問題提起や疑問点等、全会員で考え、相談、そして行動しようをコンセプトにすべてのクラブの発言を頂く事が出来ました。そして懇親会では会員同志の親睦も図れた素晴らしいIMを開催する事が出来ましたのも、G10、11各クラブの皆様の温かいご理解とご支援を得られた結果であります事、衷心よりお礼申し上げます。

一年十か月のガバナー補佐の任で多くの素晴らしいロータリアンの友人が得られ、そして貴重な数々の経験をさせて頂きました事、すべての皆様に心より感謝申し上げます。



1年を振り返って

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 グループ12ガバナー補佐 **豊浦 順海**

2年程前ガバナー補佐を引き受けることになったときは、住職という大変不規則な仕事柄、年度を通して行事等に関われるか不安でした。しかし、年度どころか任期1年近く前に第1回ガバナー補佐会議が招集され、続いてRLIのディスカッション・リーダーを務めることとなり、2年がかりの任務だと覚悟を決めました。その上、沖田ガバナーの労作「ロータリーとは」という分厚い冊子が渡され、ガバナーのロータリーへの並々ならぬ思いが伝わり、改めて補佐の任務を自覚しました。

早速任務は始まり、ガバナー補佐会議、RLI等を通じて2710地区のガバナー補佐の皆さんをはじめ地区の役員の方々と親しくお付き合いが始まり、グループ12内ではガバナーエレクトを囲む会長・幹事会を始めとして、5クラブとガバナー補佐としてのおつき合いがはじまりました。

時々出席し外から眺めていた他のクラブの内情を直に感じ、会長・幹事さんを始め皆さんが熱心に頑張ってお

られる姿勢に刺激をうけました。特に公式訪問前のクラブ協議会と公式訪問では、ビジターで訪問しては聞くことのできない様々な課題が協議され、自分自身にも色々な示唆をうけました。又、IMの準備のための打ち合わせ会等を通じて、5クラブが連携・協議し合いながら活動をしようという雰囲気が芽生えたように思いました。

地区との関わりは、3年前に交換留学生の高校生の派遣・受入のカウンセラーを務めたことから始まっており、この間いろいろな会合に参加して大変勉強になると共に、多くの関係者の皆さんと出会うことができたのは、役得であったと思います。

一地方のクラブのメンバーであった私が、所属クラブの皆さんを始め多くの方々に支えられ、この大役を果たすことができたことを心より感謝申し上げます。おかげさまで私自身が育てられたこの1年間であります。



退任のご挨拶

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 地区代表幹事 **小倉 國雄**

早いもので、地区代表幹事を仰せつかり2013年7月1日より2014年6月30日と一年が経過いたしました。

実質的には2013年3月3日のPETS、3月20日の地区協議会で本年度の運営重点方針と目標が掲げられた時がスタートでしたが、その基にある沖田ガバナー今年度の地区信条、奉仕活動を見直そう「新しい奉仕活動への挑戦」を、本年度の地区活動で形にするために、時には沖田ガバナーの手綱となり、時にはつかえ棒となり、目立たぬように地区会員皆様へのお世話が出来ますように頑張ってきたつもりではありますが、まだまだやらなければならない事があったのではという思いも致しております。

沖田ガバナーの随行として色々なクラブを訪問させて頂きました。例会の運営等、下関クラブが標準でどこも同じだろうと思っておりましたが、それぞれのクラブの

やり方、個性があり正に目から鱗が落ちる思いでした。

又、10月の5日から7日までの地区大会には1900人を超える皆様にお集まりを頂きました。下関クラブや市内の東、西、北、中央の各クラブの皆様にもご協力を頂き、ご満足の頂けた大会であったと思っております。本当に東、西、北、中央の各クラブの皆様有り難うございました。又、グループ1として油谷湾、長門のクラブの皆様にも色々とお世話になり有り難うございました。

兎にも角にも沖田年度が無事に終了致しますのは、2710地区の皆様方のご協力の賜と感謝申し上げます。本来ならば各クラブにお伺いを致してお礼を申し上げなければならないところですが、2013-2014年度ガバナー月信第13号(最終号)にて代表幹事としての御礼を申し上げます。

「一年間本当に有り難うございました。」



クラブ管理運営委員会 報告とお礼

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 クラブ管理運営委員会委員長 **吉村 彦士**

2013-14年度は「未来の夢計画」の実施年度であり、クラブの見直し年度と捉えロータリー活動の基礎である例会運営の再点検と、クラブが抱える諸問題についての検討から昨年度に引き続き、口で言うのは簡単だがいざ実行となると難しく、いつも頭を痛めている「魅力的な例会づくりと出席率向上」と未だクラブによっては、色々な論議が醸し出されている「CLPの理解と実施の促進」を委員会の方針として取り組んでまいりました。

地区協議会の分科会では、事前に偶数グループ内より

1クラブを推薦。5人のパネラーによる検討課題についての意見交換を行い各クラブの例会運営事例を発表していただきました。

最後に大之木ガバナーよりロータリーを「木」に例え、クラブ管理運営委員の業務は奉仕の為の基礎づくりで、クラブ運営の中核となるセクション。また、その任務は奉仕をする人づくりの場である例会での会員のレベルアップを目指す例会運営のポイントについてスピーチを頂きました。関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。



会員開発委員会 報告とお礼

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 会員開発委員会委員長 **和田 銀一郎**

2013-14年度は沖田ガバナーの御指導により、「職業奉仕部会」を「奉仕プロジェクト委員会」から移行し、「ロータリー情報」も包括して、「会員開発委員会」とし、職業奉仕の研究を通して、会員拡大・増強につなげることを「会員開発委員会」の活動基本方針としました。

3月3日の「PETS&地区チーム研修セミナー」と3月20日の「地区協議会」の日程が近く、準備不足・消化不良を

大変申し訳なく思っております。特にSAKUJI作戦への対応の不徹底を反省しております。

会員開発委員長の立場で、3月19日東京での「国際ロータリー第1・2・3ゾーン会員増強維持セミナー」10月27日大阪での「第3ゾーンロータリー公共イメージコーディネーターセミナー」に参加し、講演やディスカッションを通じ、ロータリーとロータリアンの魅力や、上級な人



との出会い、人柄に触れる楽しみなど、ロータリー以外の会では得られない妙味を経験させていただきました。会員数13名で会員増強がままならない油谷湾ロータリークラブの私が会員開発委員長を務めよとの言葉を大いなる皮肉と受け止めておりましたが、1年を振り返って沖田ガバナーやカウンセラーの天野肇パストガバナーの御

指導や多くの方の御協力に心から感謝いたしております。最後になります。5月17日の2014-15年度地区研修・協議会で会員増強部門事例報告者の1人として発言し、言い訳じみた暗い話を長々として、申し訳ありませんでした。「民力」の乏しさにもめげず、十人十色の薄い色のロータリアンとして今後共努力します。



R財団委員会より

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団委員会委員長 **伊賀 訓之**

2017年にロータリー財団の夢計画は100周年を迎えます。各クラブの会長様をはじめ関係者の皆様方には、年4回の財団セミナーにご出席頂きまして、ありがとうございました。

ロータリー財団の歴史は1917年にアーチCクランPRI元会長が「世界でよいことをするために」基金の設置を提案し、1928年に国際大会でロータリー財団と名づけられました。

1983年には、米国歳入法501条C項3号非営利財団法人の資格を取得し、国際ロータリーのロータリー財団が設立されました。

ロータリー財団法人設立定款(2013年手続要覧231頁)に掲載されています。

目的として、本法人は、慈善的かつ教育的目的のためにのみ組織され、常に運営されるとあります。

地区補助金、グローバル補助金には、設立定款や歳入法による制約があります。補助金管理の手引き、授与と受託の条件などに記載され補助金管理セミナーで学習しています。

地区補助金は、ロータリー財団の使命に沿っていること、グローバル補助金は6つの重点分野のどれかを目的にすることになります。地区補助金は、プロジェクトの目的が慈善になるかどうかを見極めながら地域のニーズ調査を実施し多くの人々から情報をいただき、プロジェクトを計画年度、実施年度の2年にわたって実行します。目的は、地域で困っている人々を支援し、ロータリアン自身がプロジェクトに参加することによって、ロータリー奉仕活動の素晴らしさを実感する為です。

寄付者は、寄付金が趣旨に沿って効果的に使われるものと理解し、信頼し寄付金を委ねています。

2012年のロータリー財団の活動に基づき、米国の慈善団体の評価機関3社から高い評価を受けました。財団支出のうち、管理運営費が2%、寄付増進費が9%、残りの89%をプログラム費に投じました。これは非営利組織の中でも標準をはるかに上回る割合で、その効率の高さを評価されました。

約100年間の国際ロータリー、国際ロータリーのロータリー財団の活動を評価いただいています。今後ともロータリー財団をよろしく願いいたします。



奉仕プロジェクト委員会 報告

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 奉仕プロジェクト委員会委員長 **堀川 国彦**

カウンセラー 南園義一PG 金子 信PG 前田 茂PG
委員会メンバー 堀川国彦②下関北 藤岡一郎①福山南 島村 充③呉

全般

○地区大会にて「ロータリー活動の具体的事例発表と将来のロータリー活動」と題してパネルディスカッションを開催。コーディネーター担当

社会奉仕部会

委員会メンバー 山本修司②下関 廣安尚典①福山南 青山宏明③呉

- 地区委員会委員長会議出席 (RI会長テーマ・ガバナー指針の説明)
- R.C.C.地区大会参加
- 地区協議会、分科会にて活動状況調査の報告書配布、事例紹介、意見交換を実施
- 地区大会 記念講演「掃除実践60年の人生と経営の哲学」をサポート
- RI第3ゾーン RC・RPICセミナー出席

国際奉仕部会

委員会メンバー 畑 敏治②下関中央 浦上 修①福山東 福田多喜二③呉

- 地区協議会にて地区内国際奉仕活動の現状報告と効果の検証
- 10月地区大会において韓国3690地区の歓迎「日韓交流パーティー」の運営と日韓姉妹縁組締結再調印式を実施
- 国際大会(6月シドニー)への参加促進
- RI3690地区 地区大会(5月)への参加促進
- シドニー国際大会 地区より28名参加実施

新世代奉仕部会

- 委員会メンバー 木下 稔②下関東 後藤昇三①福山南 上田 功③呉
- 第6回全国RYLA研究会参加
…東京品川Gプリンスホテル新高輪
 - ロータリー世界平和フォーラム広島参加
…広島国際会議場
 - 第18回日本青少年交換研究会
…広島国際会議場
 - RA公式訪問 …下関RAC・宇部RAC
 - RYLA参加 …下関市赤間神宮、海峡ビュー下関
 - IA日韓親善インターアクト歓迎式
…山口市ホテル常盤
 - YE中四国(3地区)合同オリエンテーション
…岡山県児島倉敷シーサイドホテル
 - RA第37回年次大会 …徳山
- RA担当メンバー 松井繁之②下関北 竹内太甫①福山 海生知亮③呉

- 突然の韓国RAの訪問を受け入れ
- IA担当メンバー 岡田 健②下関東 藤井好夫①福山北 平本禎輝③呉南
- インターアクト地区大会参加
- 韓国第3690地区インターアクトとの相互交流ホームステイの実施
- 青少年交換担当メンバー 上野宗則②下関東 梶原正己①福山南 山村貞夫③呉

- 派遣留学生2名派遣
田村 梨瑛(山口)
…カナダ/ブリティッシュ・コロンビア
- 時川 由乃(三次中央) …アメリカ/ミネソタ
- 来日留学生2名を受け入れ
Bryan Jay Dumas(山口)
…カナダ/ブリティッシュ・コロンビア
- Wren Margaret KRUSE(三次中央) …アメリカ/ミネソタ
- 次年度の派遣予定学生5名の選考
- 中四国3地区合同オリエンテーションの開催
- 受入留学生、派遣予定学生、帰国学生(学友)京都合同研修旅行

以上、本年度地区奉仕プロジェクト委員会の各部会活動に於いて多大なるご迷惑、ご尽力並びにご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。



地区米山記念奨学会委員を務めて

2013-2014年度 国際ロータリー第2710地区 米山記念奨学会委員会委員長 **井上 正明**

2012年度から2014年度の二年間に亘り米山奨学会の地区委員を務めさせていただきました。また2013-2014年度は地区委員長という重責を体験させていただき、この間に頂いた多くの皆様からのご指導ご鞭撻に深く感謝申し上げます。

さて、米山奨学会の地区委員の役割は大きく三つあると考えられます。

第一は米山奨学会に対する各クラブのご理解を促進し、事業の拡大のため寄付金の増大につなげることです。長年にわたり多くの諸先輩により営々と築き上げられてきた各クラブの実績の中で、地区委員の役割は極めて限定的かつ微力ではありますが、少しでも世話クラブの実績数を増やすことがご理解を促進につながると考えており、後述の採用選考方針の修正もその一環でした。

第二は米山奨学生の採用選考であります。米山奨学会は2012年から公益財団法人として新たなスタートを切りました。このため全国で統一された基準に拠る奨学生の採用選考が求められているところであります。しかし、

都市部で多様な留学生のいる地区と、過疎地を抱え大学も限られている地区とでは、自ずと異なる視点が必要なのではと考えました。このため、地区奨励の積極的活用等、前年度の反省点もふまえ採用方針を若干修正しました。さらに今後はより多様な国籍の奨学生採用の方策も必要と考えます。

第三はこれら米山奨学生と各クラブの接点となることです。このために4月のオリエンテーションに加え、今後はカウンセラー研修の実施が要望されておりますが、現時点では実施に至らず今後の課題となっています。また、毎年奨学生の一泊の研修旅行を実施し、日本の文化等に対する理解促進のみならず、奨学生同士のネットワーク形成の機会となっています。

何れにせよ、「将来日本と世界を結ぶ架け橋足り得る人材」を採用し各クラブとともに育てることが米山奨学会の使命であることを肝に銘じ、残り一年の地区委員としての任期を全うしたいと思います。



国際ロータリー第2710地区 2013-14年度 74RCの会員増減・出席率 2014年5月度

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数						
			当月	平均	年度初 (7/1)	当月		本年度		増減	
						末日	内女性	入会者	退会者		
グループ1	長門	3	93.83	90.74	32	30	4	2	4	-2	
	下関	3	76.59	80.48	47	47	2	5	5	0	
	下関中央	4	85.58	81.18	30	27	4	1	4	-3	
	下関東	4	78.64	83.79	46	49	0	6	3	3	
	下関北	3	89.86	91.41	40	43	0	4	1	3	
	下関西	4	80.56	81.78	38	37	1	1	2	-1	
	油谷湾	3	88.89	98.07	13	12	0	0	1	-1	
	計		84.85	86.78	246	245	11	19	20	-1	
	グループ2	萩	5	91.32	93.02	51	52	0	2	1	1
		萩東	3	98.41	99.51	22	21	0	0	1	-1
美祿		3	78.12	76.75	26	25	0	1	2	-1	
小野田		4	86.58	85.69	41	41	2	2	2	0	
宇部		4	91	89.9	49	52	2	7	4	3	
宇部東		4	55.35	67.91	17	16	2	0	1	-1	
宇部西		3	95.33	92.27	53	50	1	3	6	-3	
計			85.16	86.44	259	257	7	15	17	-2	
グループ3		防府	3	84.66	87.36	51	52	0	6	5	1
		防府北	3	89.47	80.31	20	19	2	2	3	-1
	防府南	4	79.86	80.79	33	37	8	5	1	4	
	山口	3	91.09	94.73	55	59	3	8	4	4	
	山口県央	3	89.57	94.38	32	36	1	5	1	4	
	山口南	4	83.9	87.2	38	39	4	2	1	1	
	計		86.43	87.46	229	242	18	28	15	13	
	グループ4	光	3	98.41	92.15	48	45	0	1	4	-3
		周南西	3	99.19	94.37	43	45	5	3	1	2
		徳山	4	90.41	94.12	45	52	1	11	4	7
徳山セントラル		3	90	86.93	31	30	1	1	2	-1	
徳山東		4	92.03	95.66	53	52	0	0	1	-1	
計			94.01	92.65	220	224	7	16	12	4	
グループ5		岩国	4	77.41	78.05	62	63	0	5	4	1
		岩国中央	4	88.02	89.95	40	41	3	2	1	1
		岩国西	4	90	86.61	56	56	3	4	4	0
		柳井	3	100	99.7	33	35	2	7	5	2
	柳井西	4	100	98.85	28	28	2	3	3	0	
	計		91.09	90.63	219	223	10	21	17	4	
	グループ6	広島	3	98.23	99.28	106	116	0	16	6	10
		広島安芸	4	98.2	98.02	39	39	2	1	1	0
		広島安佐	4	80.95	85.01	20	21	1	2	1	1
		広島東	3	98.46	98.33	90	91	4	7	6	1
広島北		4	100	100	80	82	0	6	4	2	
広島陵北		4	99.09	98.97	46	55	3	9	0	9	
大竹		3	91.83	89.57	31	33	0	4	2	2	
計			95.25	95.6	412	437	10	45	20	25	

グループ	クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数						
			当月	平均	年度初 (7/1)	当月		本年度		増減	
						末日	内女性	入会者	退会者		
グループ7	広島中央	3	100	99.97	69	71	9	7	5	2	
	広島廿日市	3	85.09	89.83	37	38	1	1	0	1	
	広島城南	4	96.99	98.11	55	58	3	3	0	3	
	広島南	4	99.11	99.55	89	91	0	3	1	2	
	広島東南	3	100	100	86	85	9	4	5	-1	
	広島西南	3	100	100	57	62	4	10	5	5	
	広島西	4	100	100	78	78	0	3	3	0	
	計		97.31	98.21	471	483	26	31	19	12	
	グループ8	江田島	4	95	91.89	19	20	0	3	2	1
		東広島	3	100	99.78	30	31	2	1	0	1
東広島21		3	83.33	80.9	18	18	5	1	1	0	
呉		4	91.05	91.02	68	72	1	7	3	4	
呉東		4	94.48	93.17	33	28	0	1	6	-5	
呉南		3	97.04	92.7	55	55	4	3	3	0	
西条		4	99.38	99.94	40	40	1	3	3	0	
計			94.33	92.77	263	264	13	19	18	1	
グループ9		広島空港	4	83.33	84.54	21	22	3	2	1	1
		因島	4	86.43	87.22	24	27	1	3	0	3
	三原	3	88.36	93	63	65	2	2	0	2	
	尾道	4	85.84	85.33	70	72	3	6	4	2	
	尾道東	2	91.79	91.14	50	50	0	2	2	0	
	瀬戸田	3	85.7	87.17	7	7	0	1	1	0	
	竹原	4	91.43	90.11	35	35	4	3	3	0	
	計		87.55	88.36	270	278	13	19	11	8	
	グループ10	府中	3	84.52	85.83	33	32	0	0	1	-1
		福山	3	96.39	96.04	74	82	0	17	9	8
福山東		4	95.02	91.19	50	49	3	2	3	-1	
福山丸之内		3	97.98	97.8	34	33	1	0	1	-1	
鞆の浦		3	83.15	81.34	27	24	0	1	4	-3	
福山REC2710		3	96.43	97.44	27	28	4	4	3	1	
計			92.25	91.61	245	248	8	24	21	3	
グループ11		福山赤坂	3	80.16	76.76	42	45	4	3	0	3
		福山北	4	97.34	97.23	46	48	0	4	2	2
		福山南	4	84.34	83.45	58	62	2	5	1	4
	福山西	3	94.56	93.73	38	44	3	6	0	6	
	松永	3	89.8	90.17	46	49	2	3	0	3	
	計		89.24	88.27	230	248	11	21	3	18	
	グループ12	吉舎	3	96.08	97.68	17	17	0	0	0	0
		三次	4	82.47	78.29	40	41	0	3	2	1
		三次中央	3	92.97	92.27	44	44	5	1	1	0
		庄原	3	89.67	90.44	35	33	4	1	3	-2
東城		4	86.9	85.21	21	21	1	1	1	0	
計			89.62	88.78	157	156	10	6	7	-1	
第2710地区計			90.27	90.37	3221	3305	144	264	180	84	

2014-2015年度 国際ロータリー第2710地区 地区大会

地区大会in福山

奉仕を学び ロータリーを楽しもう

ばらのまち福山
福山城
弘法大師の開基と伝えられる 国宝塔/明王院
中世民衆の町「草戸千軒町遺跡」 広島県立歴史博物館
潮待ちの港 鞆の浦/常夜燈
ばらのまち福山 イメージキャラクター「ローラ」

会員一同福山でお待ちしております。

開催期間

2014年 10月17日(金) 18日(土) 19日(日)

1日目 10月17日(金)
記念ゴルフ大会 / 松永カントリー倶楽部

2日目 10月18日(土)
大会諸委員会 歓迎昼食会 / 福山ニューキャッスルホテル
会長幹事会 基調講演
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
日韓交流パーティー

3日目 10月19日(日)
本会議 / 福山リーデンローズ
記念講演
大会懇親会 / 福山ニューキャッスルホテル

国際ロータリー第2710地区 2014-2015年度ガバナー **金子 克也** 地区大会 事務局

〒721-0973 広島県福山市南蔵王町5-14-21 南オフィスワンライン内 TEL:070-5301-2369
E-mail:[クラブ対外用]info@rid2710taikai.com

ホストクラブ 福山南ロータリークラブ コホストクラブ 福山ロータリークラブ 松永ロータリークラブ 府中ロータリークラブ 鞆の浦ロータリークラブ
福山北ロータリークラブ 福山東ロータリークラブ 福山西ロータリークラブ
丸之内ロータリークラブ 福山赤坂ロータリークラブ